

春の全国火災予防運動

『火のしまつ 君がしなくて 誰がする』

3月1日(日)から7日(土)まで

3月1日(日)から7日(土)まで『火のしまつ 君がしなくて 誰がする』を統一標語に春の火災予防運動が全国一斉に実施されます。

火災予防運動は、住民のみなさんに防火に対する意識を一層高めていただき、火災の発生を防止することにより、尊い生命や貴重な財産の損失を防ぐことを目的としています。

みなさんの家庭や地域、職場を火災から守るよう十分に気をつけましょう。

また、春の火災予防運動期間中、消防団が午後8時頃から2時間程度、それぞれの分団で管轄する行政区を巡回します。

消防団活動として夜間巡回にご理解ご協力をお願いします。



火の用心!!

主な火災原因

【たばこ】



たばこ火災で怖いのは無炎燃焼。引火後、数時間経って燃え出すため

- 手遅れになることも。
- ▶喫煙場所を設けて灰皿に水を。
- ▶吸いさしをそのままにしてその場から離れない。
- ▶寝たばこ厳禁。

【こんろ】



コンロ火災の約90%が油なべからの出火。ちょっと目を離れたスキに油は加熱して発火する。

- ▶その場を離れるときは必ず火を消す。
- ▶ガス台の周囲はいつも整理整頓。

【放火】



深夜の車庫や階段・玄関などの紙くずや新聞紙が狙われやすい。

- ▶家の内外に燃えやすい物を放置しない。
- ▶ごみを決められた日の前の晩から出しておかない。
- ▶外灯はできるだけ明るくする。

【たき火】



出火原因は、周囲に燃え移ったり、火の粉の飛び火など。とくに飛び火は思わぬところで火災を発生させるので要注意。

- ▶風の強いとき、乾燥しているときはしない。
- ▶周囲の安全確認と水の用意を。
- ▶子どもだけでさせない。

【火遊び】



発火元の大半がマッチやライター。好奇心旺盛な子どもに火の恐さを教えておこう。

- ▶マッチやライターの放置はしない。
- ▶使い終わったら子どもの手の届かないところへ。

【石油ストーブ】



使用中の給油や衣類・布団への着火などが主な出火原因。正しい取り扱いを。

- ▶周囲に燃えやすい物を置かない。
- ▶給油は火が完全に消えたことを確認してから。

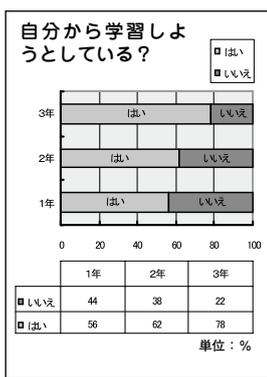
学校コーナー

学校評価を次年度に生かす

五霞中学校

今年度の学校評価を行いました。職員だけでなく、保護者・生徒・学校評議員の外部・関係者評価も行いました。保護者アンケートの一部を紹介します。

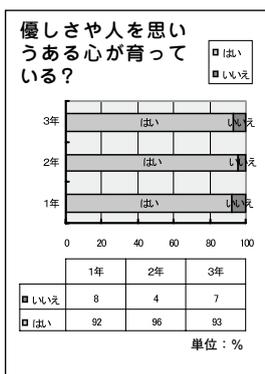
①お子さんは「自分から学習しようとしている」と思っていますか。



保護者229名の2/3が「はい」と回答しています。家庭学習の時間については、学年が進むにつれて多くなっていますが、大多数が1時間以下の回答でした。また、学習の力を伸ばすためには、学習の目標を持ち、家での復習・計画的な学習をし、授業に集中することが大切との回答が多くありました。

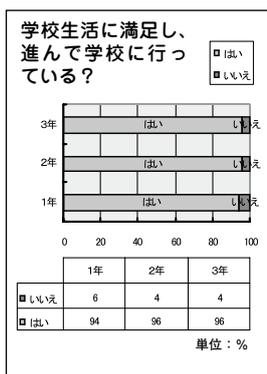
家庭学習の習慣化については、今後も継続した指導をし、身につけさせていきます。

②お子さんは「やさしい人が思っていますか。」



豊かな心の育成については、ほとんどの保護者が「はい」と回答しています。今後も全教育活動を通して、やさしい思いやりの心を育てていきます。

③お子さんは、学校生活に満足し、進んで学校に行っていますか。



95%の保護者が「はい」と回答しています。しかし、5%の保護者が満足をしていないことをしっかり受け止め、全生徒が満足できるように、さらに個別の支援を充実させていきます。